ADC380・450・550・650EP2
物干金物（サンステップアーム・ポール式）

取扱説明書

このたびは、物干金物（サンステップアーム・ポール式）をご購入いただきありがとうございました。
正しくお取扱いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
またご使用になる方がいつでもご覧になれるように必ず保管してください。

安全上の注意事項

⚠ 警告　この表示は取扱いを誤ると『死亡』または『重症』を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意　この表示は取扱いを誤ると『障害』または『物的障害』を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告　物干金物・物干竿にぶら下がったり、のぼったりしないでください。

ぶら下がったり、のぼったりすると、物干金物が破損や変形したり、墜落・転倒により
思わぬケガをする恐れがありますので絶対におやめください。特にお子様には十分ご注意ください。

⚠ 注意　ロープを掛けて使用しないでください。

ロープを掛けて使用すると、物干金物に横方向の荷重が掛かり、故障や破損の原因になります。
また、ポールの高さ調整操作が正常にできなくなる恐れがありますので必ず物干竿をご使用ください。

⚠ 注意　物干竿脱落防止のため、市販の『竿止め』をご使用ください。

接触または強風時の物干竿脱落防止のため、市販の『竿止め』をご使用ください。
物干竿を物干金物本体にロープ・針金などで固定すると、故障や破損の原因になりますので絶対におやめください。

⚠ 注意　洗濯物以外は掛けないでください。

洗濯物以外（布団・毛布他）の重量物を掛けると故障や破損の原因になりますので絶対におやめください。

⚠ 注意　物干竿をセットしたままポールの高さ調整操作をしないでください。

物干竿をセットしたままポールの高さ調整操作をすると、洗濯物やハンガーまたは物干竿の落下により
思わぬケガをする恐れがありますので、ポールの高さ調整操作をする際は必ず物干竿を取外してから行ってください。

⚠ 注意　ポールの高さ調整操作をする際、ボタンを押したままポールから手を離さないでください。

ポールの高さ調整操作をする際、ボタンを押したままポールから手を離すと
ポールが落下し破損・ケガをする恐れがありますのでご注意ください。
裏面の『操作方法』を参照に操作を行ってください。

メンテナンス方法

製品がガタついたり、ぐらぐらする場合は、ネジなどがゆるんでいないかご確認ください。
ゆるみがあった場合は、直ちにネジを締め直してください。
常に清浄に保つよう、定期的にお手入れを行ってください。
・やわらかい布でから拭きしてください。
・汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。
※シンナー・ベンジン・磨き粉・タワシなどを使って掃除することは避けてください。変色・傷などの原因になります。

ー 操作方法は裏面をご覧ください ー

大建プラスチックス株式会社
http://www.daikenplastics.co.jp

本　　社 / 〒577-0805 大阪府東大阪市宝持４丁目２番２１号
TEL：06-6724-0331（代表）FAX：06-6724-0341
E-mail：osaka@daikenplastics.co.jp
東京支店 / 〒134-0086 東京都江戸川区臨海町３丁目６番４号 BECビル5F
TEL：03-3877-7415（代表）FAX：03-3877-7537
E-mail：tokyo@daikenplastics.co.jp

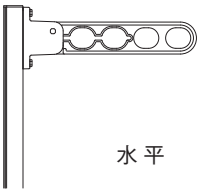
A15022603C

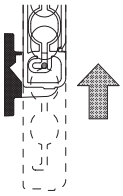
物干金物の操作方法

物干金物のアームは、水平・40°の位置で使用します。使用しないときは、垂直に収納します。
操作方法は下記をご参照ください。

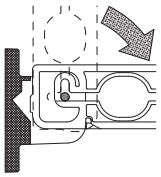
※物干竿をセットしたまま操作をしないでください。
　操作時は、指詰め・指はさみなどにご注意ください。

アームの操作方法（図はブラケットを断面にしています）

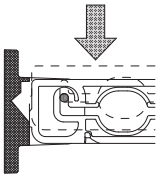




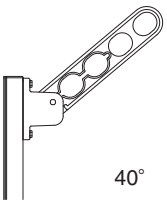
1. アームを上へ
持ち上げてください。

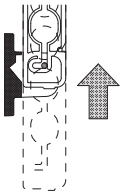


2. アームを水平の位置まで
下ろしてください。

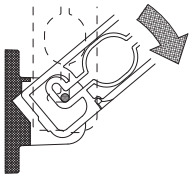


3. アームを水平の状態で
下ろしてください。

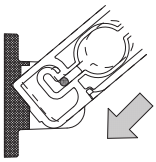




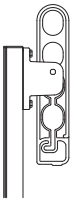
1. アームを上へ
持ち上げてください。

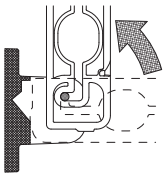


2. アームを40°の位置まで
下ろしてください。

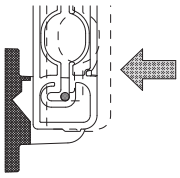


3. アームをブラケット側へ
下ろしてください。

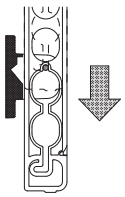




1. アームを90°の位置まで
持ち上げてください。



2. アームを90°の状態で
ブラケット側へ押してください。



3. アームを下へ
下ろしてください。

ポールの操作方法

ポールの上げ方

ポールを持ち、そのまま上に引き上げてください。
ポールの高さを5段階（123mmずつ）調節できます。

ポールの下げ方

ポールを上に少し持上げ、ボタンを押すとロックが外れます。
ロックを外した状態でポールを下にゆっくり下げてください。

※ボタンを押したままポールから手を離すと、ポールが落下し
　破損・ケガをする恐れがありますのでご注意ください。